



第47期 第2四半期報告書

2022.7.1 >>>> 2022.12.31



 朝日インテック株式会社

証券コード:7747

中期経営計画『ASAHI Going Beyond 1000』 に基づく成長戦略を着実に進め、 企業価値の拡大を目指してまいります。

代表取締役社長

原田 昌彦



新型コロナウイルス感染症の影響縮小による 症例数の回復や、市場ニーズの増加、為替動向 などにより、増収となりました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた症例数が前年同期比で回復傾向にあることや、市場ニーズの増加、為替が円安に推移したことなどから、海外売上高が大幅に増加し、売上高は454億35百万円(前年同期比20.5%増)となりました。

メディカル事業につきましては、国内市場においては、医療償還価格の下落が発生したこと、並びにOEM取引の減少などにより、売上高は減少しました。海外市場においては、循環器系領域が全地域でPCIガイドワイヤーや貫通カテーテルを中心に順調に推

移したことや、非循環器系領域についても中国は代理店の在庫調整のため減少したものの、それ以外の地域は順調に推移したことから、売上高は増加しました。その結果、売上高は396億95百万円(同19.8%増)となりました。

デバイス事業は、医療部材を中心に売上高は大幅に増加しました。医療部材のうち、国内市場においては、顧客の在庫調整などにより売上高が横ばいに推移しましたが、海外市場においては、米国企業向け循環器系超音波カテーテル部材および循環器系検査用カテーテル部材の取引が増加したことなどから、売上高は増加しました。また、産業部材につきましては、海外市場において、レジャー関連取引が好調に推移しましたが、国内市場において、建築関連および

OA機器関連の取引が減少したことから、売上高は横ばいに推移しました。その結果、売上高は、57億40百万円(同26.0%増)となりました。

営業活動や研究開発などにより販売費及び 一般管理費が増加しましたが、売上高の大幅 増加により、増益となりました。

営業利益は、売上高の増加や海外市場での販促活動強化に伴う営業関係費用の増加、開発強化のための研究開発費の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加したものの、99億51百万円(同22.8%増)となりました。経常利益は、為替差損が増加したものの、96億21百万円(同11.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、段階取得に係る差益6億15百万円が減少するものの、セブ工場の台風被害に伴う災害保険金収入3億5百万円の計上やセブ工場被災による損失の減少などにより、74億73百万円(同17.0%増)となりました。

さらなる企業成長に向けて 『ASAHI Going Beyond 1000』を着実に進めます。

当社は、低侵襲治療を究極的に追究することで、医師や患者様のQOLの向上を目指し、2026年6月期において連結売上高1,000億円を超えることを目標とする中期経営計画『ASAHI Going Beyond 1000』を推進しています。中期経営計画では、「グローバル市場の戦略的な開拓と患部・治療領域の拡大」、「グローバルニッチ市場における新規事業の創出」、「グローバル展

開に最適な研究開発・生産体制の構築」、「持続的成長に向けた経営基盤の確立」の4つの基本方針を定め、さらなる成長を実現させるための事業ポートフォリオの構築を進めています。

当第2四半期連結累計期間では、Penumbra Inc. (米国)の末梢血管用血栓吸引デバイスの日本市場における独占販売に向けた基本合意書を締結、DK MEDTECH(蘇州)有限公司の「DK Score™冠動脈スコアリングバルーン拡張カテーテル」の中国市場での独占販売契約を締結、レイクR&D(株)の株式取得(非連結子会社化)に係る譲渡契約の締結などを実施しました。

今後も引き続き中期経営計画に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の向上を目指してまいります。

なお、当社グループとして初の「統合報告書2022」を日本語と英語で発行しました。本統合報告書でもお伝えしておりますとおり、当社の果たすべき使命は、数多くのお客様とのお取引を通じて培った技術力・対応力を活かして、医療機器分野・産業機器分野両方のお客様の課題を解決していくことにあります。当社は、社会の一員として社会問題や環境問題に対しても正面から向き合っており、取り組みを進め、一方で経済活動においても中長期にわたって確実に成果を上げていくことで、事業の持続可能性を高めるサステナブル経営を実践していきます。

2023年3月

Penumbra社製末梢血管用血栓吸引デバイスの 日本市場での独占販売に向け基本合意

Penumbra Inc. (Penumbra社)が製造する末梢血管用血栓吸引デバイスIndigo™およびLightning™システムを、当社グループの朝日インテックJセールス株式会社が日本市場で独占販売を行うことについて、Penumbra社と基本合意しました。

Penumbra社は末梢血管の血栓除去に有用な医療機器を設計・開発・製造・販売しており、Indigo™およびLightning™システムは、機械式ポンプを用いた血栓吸引カテーテルシステムです。

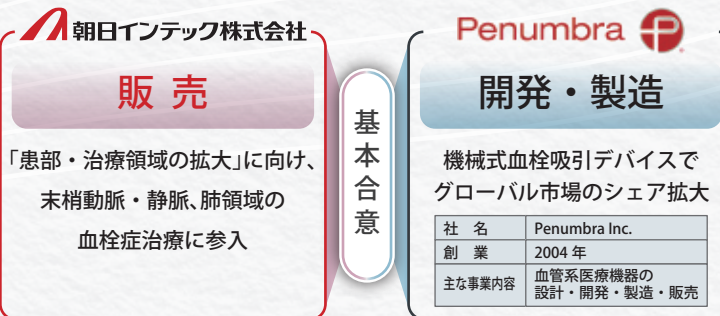
末梢動脈において、血栓が血管を閉塞することにより発症する急性疾患に対する治療は、日本国内では血栓溶解薬物療法などが行われています。現在、この療法に用いられる

ウロキナーゼ製剤の供給問題が生じており、外科手術が困難な症例に対する治療手段がなくなる可能性があります。そのため末梢血管用の血栓吸引システムの早期導入が必要な状況です。

Penumbra社との提携を通じて、社会的医療ニーズを満たすとともに、低侵襲治療の普及と医師や患者様のQOL向上に努めていきます。



Rx only. Copyright©Penumbra, Inc. All rights reserved.



複数の領域にまたがる血栓症に対する新しい治療を実現
新しい血栓除去デバイス市場の創出

レイク R&D 株式会社の株式取得(子会社化)

買収の目的
既存事業・新規事業の両面におけるシナジー効果

当社は、2023年1月5日にレイク R&D 株式会社(レイク R&D)の全株式を取得し、子会社化しました。

レイク R&Dは、主に消化器分野を中心に、処置具、鉗子等の設計・製造・販売を行っており、大手医療機器企業からのさまざまな要望に対して、受注設計・受注製造を担っている独自性の高いノウハウ・技術力を有する企業です。

本株式取得により、消化器分野での研究開発を加速させ、優位性のある製品投入を多角的に行うことで更なる収益拡

大を目指すとともに、将来的には、レイク R&Dが保有・開発した製品について、当社グループの製造工場にて量産し、グローバル展開することなどを進めていきます。

レイク R&D 株式会社の概要

設立年月日	1971年9月1日
所在地	長野県岡谷市
代表者	代表取締役 小口祐二
事業内容	医療機器製造販売業
資本金	500万円
従業員数	18名
主要取引先	米国大手医療機器メーカー



内視鏡用局注射針



胆管結石用碎石バスケット

朝日インテックグループ初の 「統合報告書2022」発行

持続的な企業価値向上のための取り組みに対するご理解を深めていただくことを目的に、当社グループとして初の「統合報告書2022」を発行しました。

本統合報告書では、社長メッセージ、経営方針、価値創造プロセス、成長戦略、サステナビリティに関する取り組みなどを整理し、財務情報と非財務情報の両開示の充実を図ることで、当社グループの全体像をお伝えしています。本統合報告書が、ステークホルダーの皆様の当社グループに対するご理解の一助になれば幸いです。

▼「統合報告書2022」はこちらをご覧ください。
http://www.asahi-intecc.co.jp/esg/asahi-intecc_integrated-report_2022.pdf
(2023年3月時点)



日本語版



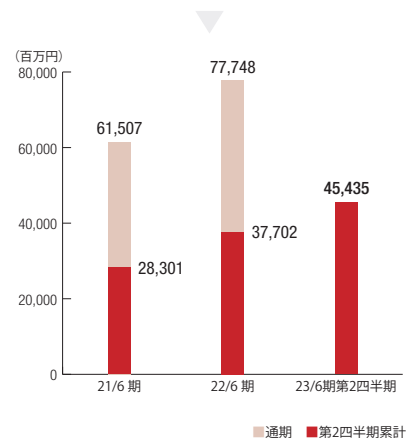
英語版

連結財務データ

売上高

売上高 前年同期比 20.5%増

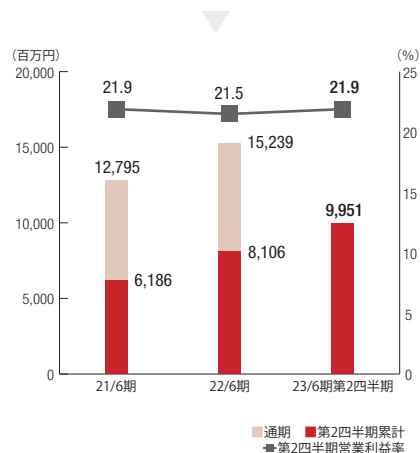
新型コロナウイルス感染症の影響縮小による症例数の回復や、市場ニーズの増加、為替動向などにより、海外売上高が好調に推移し、増収となりました。



営業利益／営業利益率

営業利益 同 22.8%増

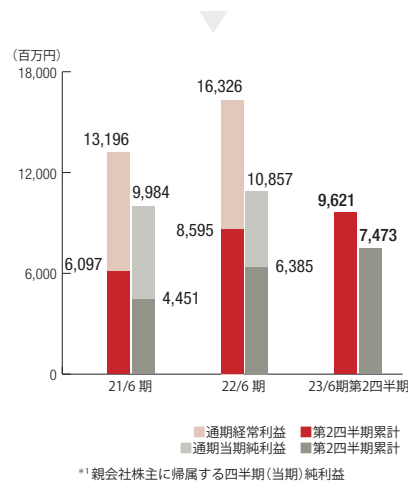
営業活動や研究開発などにより販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上高の大幅増加により、増益となりました。



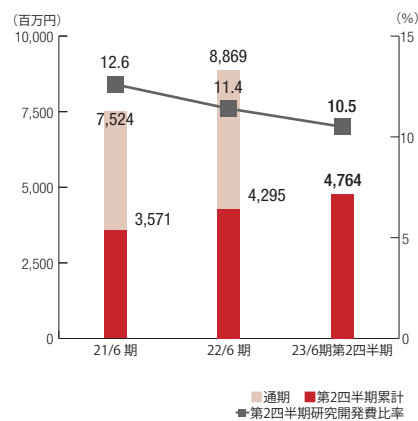
経常利益／四半期(当期)純利益*1

経常利益 同11.9%増 四半期純利益 同17.0%増

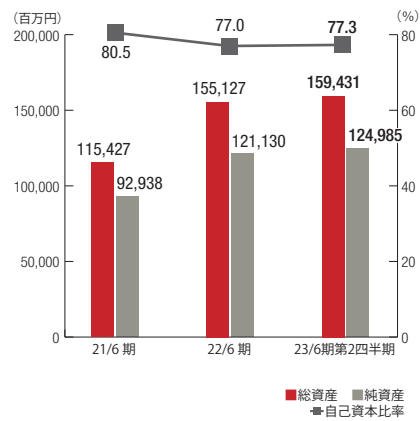
為替差損が増加したものの、段階取得に係る差益の減少、セブ工場の台風被害に伴う災害保険金収入の増加、同工場被災による損失減少などにより増益となりました。



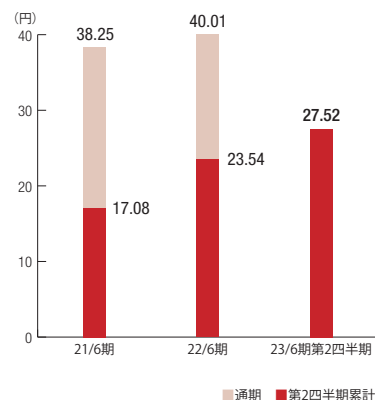
研究開発費／研究開発費比率



総資産／純資産／自己資本比率



1株当たり四半期(当期)純利益



会社情報／株式情報 (2022年12月31日)

会社概要

商号 朝日インテック株式会社 (ASAHI INTECC CO., LTD.)

設立 1976(昭和51)年7月8日

資本金 188億6,079万円

従業員数 連結10,479名／単体965名

上場証券取引所 東京証券取引所(プライム市場)
名古屋証券取引所(プレミアム市場)

主な事業内容 ①主に血管内治療に使用される低侵襲治療製品(ガイドワイヤー・カテーテル)の開発・製造・販売
②医療機器分野および産業機器分野の部材等の開発・製造・販売

役員

代表取締役社長…………… 宮田 昌彦
代表取締役副社長…………… 宮田 憲次
専務取締役…………… 加藤 忠和
常務取締役…………… 松本 宗近
取締役…………… 寺井 芳徳
取締役…………… 伊藤 瑞穂
取締役…………… 西内 誠
社外取締役…………… 伊藤 清道
社外取締役…………… 草刈 貴弘
社外取締役(監査等委員)…………… 富田 隆司
社外取締役(監査等委員)…………… 花野 康成
社外取締役(監査等委員)…………… 深谷 玲子

株式情報

発行可能株式総数 800,000,000 株

発行済株式の総数 271,633,600株(自己株式7,878株を含む)

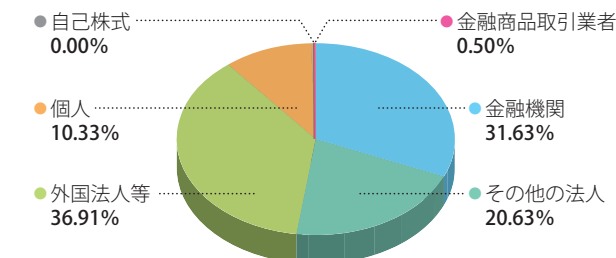
株主数 15,670名

大株主

株主名	持株数(数)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	48,424,600	17.82
ボウエンホールディングス(株)	23,084,032	8.49
(株)日本カストディ銀行(信託口)	17,702,900	6.51
(株)ハイレックスコーポレーション	8,100,000	2.98
アイシーエスピー(有)	7,200,000	2.65
宮田 昌彦	5,811,700	2.13
宮田 憲次	5,265,200	1.93
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	5,248,355	1.93
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140041	5,066,219	1.86
野村信託銀行(株)(信託口)	4,029,900	1.48

(注)持株比率は、自己株式(7,878株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



事業所 (2022年12月31日現在)

国内事業所

本社/メディカル事業統括本部

グローバル本社・R&Dセンター……………愛知県瀬戸市
デバイス事業統括本部 大阪R&Dセンター……………大阪府和泉市
静岡R&Dセンター……………静岡県袋井市
東北R&Dセンター……………青森県八戸市
サテライトオフィス 名古屋オフィス……………愛知県名古屋
営業拠点 東京……………東京都新宿区
大阪……………大阪府和泉市

海外事業所

中東支店……………アラブ首長国連邦 ドバイ
シンガポール支店……………シンガポール ユナイテッドスクエア
香港支店……………中国 香港
インド支店……………インドムンバイ
韓国支店……………韓国 ソウル(特別)市
台湾支店……………台湾 新北市
タイ支店……………タイ バンコク

連結子会社

ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.……………タイ パトゥムタニ県
ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.……………ベトナム ハノイ市
ASAHI INTECC USA, INC.……………米国 カリフォルニア州
朝日英達科貿(北京)有限公司……………中国 北京市
朝日インテックJセールス株式会社……………東京都港区
フィルメック株式会社……………愛知県名古屋
トヨフレックス株式会社……………東京都新宿区
TOYOFLEX CEBU CORPORATION……………フィリピン セブ州
ASAHI INTECC LATIN PROMOCION DE VENDAS E COMERCIO
DE PRODUTOS CIRURGICOS LTDA.……………ブラジル サンパウロ州
ASAHI Medical Technologies, Inc.……………米国 カリフォルニア州
ASAHI INTECC CIS LLC……………ロシア連邦 モスクワ州
ASAHI INTECC EUROPE B.V.……………オランダ アムステルダム
ASAHI INTECC Deutschland GmbH……………ドイツ フランクフルト
Filmec USA, Inc.……………米国 カリフォルニア州
朝日サージカルロボティクス株式会社……………千葉県柏市
KARDIA S.R.L.……………イタリア ミラノ
Rev.1 Engineering, Inc.……………米国 カリフォルニア州
Pathways Medical Corporation……………米国 カリフォルニア州

株主メモ

事業年度……………毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会……………毎年9月
期末配当金受領株主確定日……………6月30日
中間配当金受領株主確定日……………12月31日
公告方法……………当社ホームページ

<http://www.asahi-intecc.co.jp/> に
掲載します。

但し、やむを得ない事由により電子公告を
することができない場合は、日本経済新聞
に掲載します。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関
同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒489-0071 愛知県瀬戸市暁町3番地100 Tel:0561-48-5551(代) Fax:0561-48-5552

<http://www.asahi-intecc.co.jp/>